

CSR (企業の社会的責任) を重視した経営の推進

ニコンのCSRへの取り組み

ニコングループは、地球環境の保全や社会の持続的発展に貢献し、すべてのステークホルダーの皆様の信頼を得られる、誠実で透明性の高い「CSR重視の経営」を推進しています。

CSRの中期計画

ニコングループでは、2006年に中期経営計画で「CSR重視の経営」を掲げてから今日まで、CSR委員会の設置、ニコンCSR憲章の制定、CSR中期計画の策定、国連が提唱する「グローバル・コンパクト」への参加など、CSR重視の経営を推進してきました。

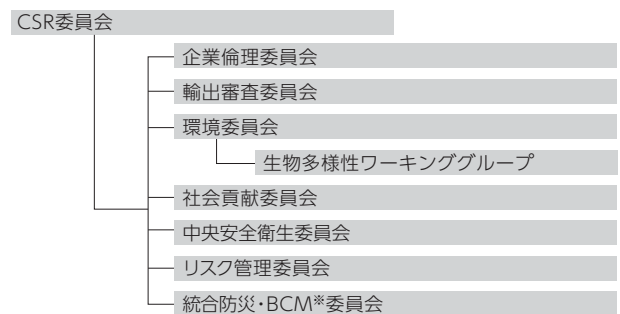
CSR中期計画の重点課題としては、これまでの「環境経営の拡充・推進」「コンプライアンス活動のグローバルな推進」「社会貢献活動のグローバルな展開」等7項目に、2011年3月期からの3ヵ年計画では「人権・労働環境のグローバルなマネジメント」を加えました。今後とも、地球環境の保護やコンプライアンスと事業の展開を両立し、本業を通じたCSRを推進することにより、真の優良企業を目指していきます。

CSR推進体制

誠実で透明性の高い経営を目指すという企業目標を実現するため、会長を委員長とするCSR委員会を設置し、グループにおけ

るCSR推進の方針の決定や、活動の点検を行っています。CSR委員会の傘下には、企業倫理、環境や社会貢献などの7つのテーマごとに個別の委員会を設置し、グループ全体でのCSRの浸透・定着を図っています。2010年3月期には、生物多様性への今後のニコンの取り組みを具体化していくために、「生物多様性ワーキンググループ」を設置しました。

CSR推進体制図



※ Business Continuity Management (事業継続マネジメント)

マネジメント

ニコングループは、企業は社会の一員という強い自覚をもって法令を順守し、透明性の高い経営を行っていくことで、社会全体からの信頼が得られると考えます。そのためにさまざまなマネジメントを推進しています。

コーポレート・ガバナンス

ニコングループでは、グローバルな経営環境の中でステークホルダーの皆様との信頼関係を深め、「経営の効率性と透明性の向上」を実現するため、コーポレート・ガバナンスの強化に努めています。

カンパニー制を導入し、事業一貫体制による分権経営を進める一方、業績評価制度による業績と報酬の連動性を高めました。また、執行役員制度を導入し、経営環境の変化に迅速に対応する経営体制の整備を行いました。また、2010年6月末の役員改選により、取締役会議長は会長、経営委員会議長は社長が担当し、経営の監督と業務執行の分離を行いました。

内部統制システム

業務の有効性と効率性を常に意識し、財務報告の信頼性の確保、関連法規の順守、資産の保全等を図ることが重要な経営責

任と認識し、組織や制度の整備・充実に努めています。これまで、権限委譲に関する規程の再整備、業務執行部門から独立した内部監査部門の設置、ニコングループ全体の情報資産管理の強化、J-SOX法に対応するための専門組織の設置等により持続可能な内部統制の維持・発展等に努めてきました。2010年3月期には、決裁に関する規程を見直し、意思決定プロセスの強化および重要情報が報告されるようルールの改定を行いました。

企業倫理(コンプライアンス)

コンプライアンスと事業活動の両立は、ニコングループにとって重要な基本事項の1つです。特にグローバル企業であるニコングループは、国内はもとより文化の異なる海外での状況にも配慮した高いコンプライアンス意識の浸透徹底が求められています。社員一人ひとりが日々の業務から適切な行動がとれるよう、ニコン企業倫理委員会によるコンプライアンスに関するグ

